

L'aile d'Howl



【ライル・ドウル：ホウルの翼(仏語)】

October 2015

県総合選手権大会は男女とも富士大学が優勝☆



去る10月3日～4日にかけて花巻市総合体育館にて開催された第58回岩手県総合ハンドボール選手権大会は、男女とも富士大学が優勝を飾る形で幕を閉じました。

ハンドボールもサッカー同様、天皇杯方式に移行するため、従来12月に1年の締めくくりで開催されていた本大会も、昨年より10月に開催することになりました。つまり、10月の県大会を勝ち上がると11月の東北ブロック予選への出場権を得ることができ、またそのブロック大会を勝ち上がると、年末に開催される全日本総合ハンドボール選手権大会への出場権を得ることができるという方式です。これまでは日本リーグのチームやインカレ上位校、またはジャパンオープントーナメント優勝チーム等に与えられていた出場の機会ですが、今後は全国の高校及びクラブチームにもチャンスがあるということです。さて、今大会の様子を振り返ってみましょう。

男子の部ですが、地元・花巻クラブは、岩手大学との初戦を26-17で制し、2回戦に駒を進めますが、続く2回戦の相手は国体少年男子のメンバーが揃う不来方高校。大会直前まで和歌山国体で戦ってきたメンバーはさすがに強かった！若さと機動力に勝る不来方高校に32-17と大差をつけられ、敗退となりました。その他、高校では盛岡一高、盛岡四高などが2回戦に勝ち上がりましたが、一般のクラブチームに行く手を阻まれ、上位進出はなりません。ベスト4に残ったのは、富士大学、不来方高校、不来方クラブ、そしてHC岩手。富士大学と不来方高校の一戦は、序盤富士大学が一步リードして前半を折り返しますが、試合終盤に差し掛かり、不来方高校が怒涛の追い上げを見せます。あわや逆転かと思われたラスト数分、落ち着いて点差をキープした富士大学に軍配が上がりました。3年生にとっては、これで引退となった試合。大声援の中、見事な試合展開をしてくれた選手たちには大きな拍手が贈られていました。国体成年男子が中心となるHC岩手と富士大学との決勝戦は、勢いに乗る富士大学が序盤からリードを広げていきます。国体での疲れが残っているように見えるHC岩手は、なんとか後半の反撃に期待しますが、やはり普段からチームとしてのまとまりがある富士大学が一步先を行く展開となり、最後は接戦を制した富士大学が頂点に立ちました。

出場チームが年々少なくなっている女子の部ですが、不来方高校、不来方クラブ、富士大学、そして盛岡白百合高校との接戦を制した白梅三英扶会が準決勝進出。先輩・後輩の顔合わせとなった不来方対決は、先輩が意地を見せる形で不来方クラブが勝利を収めました。また、富士大学も前半の大量リードを守り切り、決勝に駒を進めました。迎えた決勝では、元日本代表・佐久川ひとみさん、そして元韓国代表・張素姫さんのライバル対決にも注目が集まりましたが、D-Fから速攻で得点を重ねていく富士大学のペースで試合が進みます。全体的にはロースコアの展開となりましたが、18-16の僅差で試合を制した富士大学が、嬉しい男女アベック優勝を飾りました。



出場チームが年々少なくなっている女子の部ですが、不来方高校、不来方クラブ、富士大学、そして盛岡白百合高校との接戦を制した白梅三英扶会が準決勝進出。先輩・後輩の顔合わせとなった不来方対決は、先輩が意地を見せる形で不来方クラブが勝利を収めました。また、富士大学も前半の大量リードを守り切り、決勝に駒を進めました。迎えた決勝では、元日本代表・佐久川ひとみさん、そして元韓国代表・張素姫さんのライバル対決にも注目が集まりましたが、D-Fから速攻で得点を重ねていく富士大学のペースで試合が進みます。全体的にはロースコアの展開となりましたが、18-16の僅差で試合を制した富士大学が、嬉しい男女アベック優勝を飾りました。



女子・花巻中が県新人戦で優勝！春の全国大会出場決定☆

やりました！女子・花巻中が10月17日～18日に行われた第33回岩手県中学校新人ハンドボール大会において見事2年ぶり3回目の優勝を果たし、来年3月富山県氷見市で開催される春の全国中学生大会への出場権を獲得しました！かつて一度廃部となり、女子部が復活した2年後に初めて優勝し、全国大会に出場してから数えること、ついに3度目！現在高校1年生の先輩たちが出場を果たした時から2年の時を経て、再度全国大会への挑戦が決まりました。それでは、今大会の花巻勢の活躍ぶりを振り返ってみましょう。

＜男子・花巻中＞ 大宮中との初戦は、驚くほどロースコアでの展開。互いに得点が多くなかなか挙げられないまま試合は終盤へ。なんとか1点差を守り切り、10-9で薄氷の勝利を収めました。続く2回戦は矢巾北中との顔合わせ。「自滅だった」という反省のとおり、自分たちのパスミス、シュートミス等でリズムを掴むことができず、完全に相手のペースで試合をさせてしまったことが敗因となり、上位進出はなりません。なお、キャプテンとしてチームを牽引した鈴木空悟選手が優秀選手に選出されました。今後は、もっと一人ひとりが積極的にゴールを狙う姿勢が必要だと感じました。次からの巻き返しを期待したいと思います。



＜男子・花巻北中＞ ほぼ1年生という布陣で大会に臨んだ花巻北中。1年生の中でも小粒なメンバーだったため、花巻クラブジュニア時代に培ったハンドボールの技術はあっても、なかなか相手DFを突破することが難しい状況でした。体格に勝る紫波一中のDFに捕まり、シュートチャンスが限られてしまったことが残念でした。27-12で初戦敗退ではありましたが、ハンドボール自体では負けていなかったと思います。体を大きく育てて、次回は上位進出目指してガンバレ！

＜女子・花巻北中＞ 北陵中との初戦。センターからのミドルシュート、バックプレイヤーのカットインなどを狙っていきますが、シュートの大半が枠外となり、得点を挙げるできませんでした。シュートを狙う選手が限られており、攻撃が止まってしまうことが残念でした。やはり、ハンドボールはどこからでも得点を挙げられるチームが強いと思います。全てのポジションから、もっと積極的に

的にシュートを打っていくよう頑張ってください。

＜女子・花巻中＞ 男子同様、大宮中との対戦となった第一試合。積極的なDFから速攻で点を重ね、序盤リードすると、後半は余裕を持って試合運びをすることができました。続く2回戦は矢巾中との顔合わせ。前半はなかなかエンジンがかからず、8-6と僅差の展開でしたが、後半リズムに乗るとリードを一気に広げ、24-14というスコアで翌日の準決勝に駒を進めました。準決勝の相手は、盛岡地区新人戦で準優勝の上田中。前半うまくリードする展開に持っていきましたが、後半追われる立場で焦りが出たの



か、徐々に点差を詰められますが、2点差を死守し、ついに決勝の舞台へ。迎えた決勝戦、緊張からリズムに乗れない感じで試合が推移します。阿部史歩選手のカットイン、福岡愛選手の粘り強いポストプレーなどで徐々に得点を挙げていきますが、小柄ながらもスピードあるハンドボールを展開する矢巾北中にリードを許し、7-8で前半を折り返します。ハーフタイムで声をかけた阿部史歩キャプテンからは「絶対勝ちます！」という力強い言葉をもらい、後半に望みを託したところ、ついに逆転！土佐春乃選手が、その俊足を活かして速攻で抜け出しシュート！そして、16-12と4点リードした終盤、ついに歓喜の瞬間を迎えました。嬉し涙があふれる選手たち。春の全国大会への切符を手に入れました。閉会式では、阿部史歩キャプテン、土佐春乃選手、藤原ひなた選手(3名とも花巻クラブジュニアOG)、そして福岡愛選手の4名が優秀選手に選ばれました。

おめでとう！花巻中女子！岩手県代表として、全国大会で活躍できるよう、これからますますチーム力を磨いていってほしいと思います☆



L'aille d'Howl (ライル・ドウル)
2015年10月号
2015年10月25日発行
発行：花巻市ハンドボール協会